

令和 5 年度 大阪府立吹田高等学校 学校教育自己診断 (生徒・保護者)

集計結果の分析と
今後の取り組み



【はじめに】

今年度も、生徒並びに保護者の皆様のご意見を反映し、より良い学校運営に資するため、「学校教育自己診断」を実施いたしました。お忙しい中にも関わりませず、多くの保護者の皆様からご回答をいただきました。

その集計結果と今後の取り組みについてまとめましたので、お届けいたします。

【資料の見方】

吹田高校では、他の大阪府立の高等学校と同じく年度当初に「学校経営計画」を策定し、その実現に向けて、教職員が力を合わせ、学校教育に取り組んでいます。

そこで、今年度の学校教育自己診断の結果等につきましても、質問毎に「学校経営計画」との対応がわかるように整理しました。

*「学校経営計画」は本校のホームページ（以降、HPと記します）に掲載しておりますので、あわせてご覧ください

本資料の見方は、以下の通りです。

「学校経営計画」の今年度の重点目標に含まれるかまたは近いテーマ

- その項目に関わる質問 と アンケート集計結果 及び
対応する「学校経営計画」における今年度の重点目標の項目箇所
- アンケート結果に対する学校の受け止め方（分析）
- 来年度以降の指導の方向性（対応）

I 遅刻・頭髪・登下校時のマナー指導

■生徒へのアンケート

質問		学年	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	R05肯定的回答率
1	あなたは、毎朝遅刻をしないように意識をしていますか。 全学年 肯定的回答率平均 91.7%	1 年	71.05%	17.11%	10.53%	1.32%	88.2%
		2 年	65.61%	28.03%	5.73%	0.64%	93.6%
		3 年	71.19%	22.03%	5.08%	1.69%	93.2%
2	あなたは登下校時に、交通ルール・マナーを守るように努めていますか。 全学年 肯定的回答率平均 97.3%	1 年	74.51%	22.88%	2.61%	0.00%	97.4%
		2 年	61.15%	35.03%	3.18%	0.64%	96.2%
		3 年	71.19%	27.12%	1.69%	0.00%	98.3%

【「学校経営計画」における今年度の重点目標の項目箇所】

質問2 → I (1) エ

■【学校の受け止め方（分析）】

質問1、2ともに、全学年肯定的回答率の平均が90%を上回っています。生徒一人ひとりが「ルールを守る」ことを意識しながら日々前向きに学校生活を送ろうとしていることが伺えます。また、今年度は通学安全指導の一環として「スケアードストレイト」を学校のグラウンドで実施しました。そのため、交通ルール・マナーについての肯定的回答が非常に高い値となっているのだと思います。

「ルールを守る」意識の向上の一方で、遅刻数は年々増加し、遅刻指導の対象となる生徒は毎月とても多くいます。また、登下校時も、近隣住民の方の迷惑になっていたり、事故を起こして怪我をしたりしてしまうケースが少なくありません。安全に登下校をするためにも、時間に余裕をもって行動しなければなりません。

「ルールを守る」ことはもちろん大切ですが、「何のためのルールなのか」を理解することができれば、今まで以上に規範意識を持つことができ、上記の指導は少なくなっていくと思います。遅刻指導は「近い将来社会に出たときに、時間を守り人から信頼されるためのルール」です。通学安全指導は「自分や周りの人の命を守るためのルール」です。学校の指導を通して、基本的な生活習慣を確立していきましょう。

■【来年度以降の指導の方向性（対応）】

遅刻指導については、現在実施している早朝登校指導と、今年度より新たに導入した入室許可証を継続します。また、遅刻指導対象となった生徒には、それ以上遅刻を増やさないためにはどうしたらよいか、考えるきっかけを作っていきたいと思います。それらの指導を通して学校全体で遅刻を減らしていきます。通学安全指導については、今年度実施した外部講師による講習や、警察・市役所・保護者の皆さまとともに、地域一体となった吹田高校生のための通学安全指導を考えていきます。

■保護者へのアンケート

質問		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	R05肯定的回答率
1	学校の遅刻指導（早朝登校と入室許可書）について理解できる。（通院などの特別な場合を除く）	68.7%	26.2%	2.9%	2.1%	94.9%
2	学校の頭髪指導について理解できる。	57.8%	30.7%	8.0%	3.5%	88.5%
3	学校の携帯電話指導について理解できる。（授業中の携帯電話使用やSNSによる不適切投稿など）	79.6%	18.8%	0.8%	0.8%	98.4%

【「学校経営計画」における今年度の重点目標の項目箇所】 該当なし

■【学校の受け止め方（分析）】

質問1～3の指導について、肯定的な回答を多くいただき、保護者の皆様が本校の指導にご理解をいただけていることが伺えます。

アンケートの結果を受け、これらの指導を継続的に展開するとともに、より一層多くの保護者の皆様にご理解いただけるよう、より良い指導方法を模索してまいります。また、指導の経過や経緯についてもこれまで以上に丁寧にご連絡、ご報告することを心掛けていきたいと感じています。

■【来年度以降の指導の方向性（対応）】

遅刻や違反行為については、規範意識がしっかりと定着するまで、現在の指導を継続すること、より良い指導法を考えていくことが必要だと思っています。また、指導に際しては、「ペナルティを科す」ことを目的とせず、「なぜ指導を受けているのか」を該当生徒にしっかりと納得させること、安易な指導にならないことが不可欠だと認識しています。

生徒自らが自分を律し、また、自分の成長を考えて、時間を守りルールを守るという当たり前のことができるように、今後も丁寧な指導を続けていきたいと考えています。引き続き、ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

2 学校行事・部活動のさらなる充実・活性化

■生徒へのアンケート

質問		学年	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	R05肯定的回答率
3	あなたは遠足、体育祭、文化祭などの学校行事に自主的・積極的に参加していますか。 全学年 肯定的回答率平均 93.5%	1年	69.28%	25.49%	3.92%	1.31%	94.8%
		2年	68.15%	26.11%	4.46%	1.27%	94.3%
		3年	66.95%	24.58%	5.93%	2.54%	91.5%

【「学校経営計画」における今年度の重点目標の項目箇所】

質問3 → 1(2)ア

■【学校の受け止め方（分析）】

全学年での肯定的な回答が今年度は93.5%となり昨年度の89.1%から上昇しました。直近5年間でも一番良い結果となり、今年度も生徒が前向きに取り組んでくれたことをうれしく思います。

■【来年度以降の指導の方向性（対応）】

生徒たちが行事を通じて「達成感」と「充実感」を得て、それが自分自身の成長につながるような行事を生徒会部が中心となり学校全体で取り組んでいきたいです。生徒会執行部と一緒に充実した行事を行っていききたいです。

■生徒へのアンケート

質問		学年	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	R05肯定的回答率
4	学校の部活動は活発だと思いますか。 全学年 肯定的回答率平均 72.1%	1年	37.91%	37.25%	16.99%	7.84%	75.2%
		2年	35.03%	42.04%	12.10%	10.83%	77.1%
		3年	36.75%	27.35%	23.08%	12.82%	64.1%

■【学校の受け止め方（分析）】

生徒会部としては、部活動を活発に行っていると判断しています。これは生徒の自主性や、保護者の皆様の理解、多くも教員の協力の元に行われており、この体制に感謝しています。

■【来年度以降の指導の方向性（対応）】

クラブ部員の活動の様子を、他の多くの生徒に知ってもらう機会が必要だと思います。部活動ブログをはじめ、生徒会便り等で部活動の情報を発信していきたいです。

■保護者へのアンケート

質問		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	R05肯定的回答率
8	学校の体育祭、文化祭に子どもは自らすすんで取り組んでいる。	56.9%	34.2%	5.9%	3.0%	91.1%

【「学校経営計画」における今年度の重点目標の項目箇所】 該当なし

■【学校の受け止め方（分析）】

質問項目に関する保護者の皆様の回答の肯定率は、子どもたちも学校生活への満足度と相関関係にあると考えています。今年度も91.1%と高い肯定率をいただき今後の励みになります。

■【来年度以降の指導の方向性（対応）】

前述したように保護者の方々の行事への意識は「子どもが学校行事を肯定的にとらえているかどうか」という点に大きく影響があると考えています。

学校として一番注力すべきは「生徒にとって有意義な学校行事の運営」であり、社会情勢に即した安全な行事運営が求められる中、本当の意味で生徒が望む形での行事の実施を念頭に、生徒たちの「自主性」をはぐくむことができる学校行事を今後とも引き続き検討していかなければならないと思っています。

■保護者へのアンケート

質問		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	R05肯定的回答率
9	学校の部活動は活発である。	25.9%	46.6%	20.8%	6.7%	72.5%

【「学校経営計画」における今年度の重点目標の項目箇所】

質問9 → Ⅰ（２）イ

■【学校の受け止め方（分析）】

肯定的な回答が今年度は72.5%となり、昨年度より増加した。生徒の頑張っている姿を見聞きしている保護者の方が増えた結果だと思っています。

■【来年度以降の指導の方向性（対応）】

多くの生徒が「入りたいな」と思える部活動づくりと、部活動の良さを継続的にアピールしていくことが大切です。

本校入学から各引退時期まで、フォローできる体制を整えることと、4月の仮入部期間や個別の部活動勧誘だけでなく、部活動の情報発信についても、メルマガやホームページ、クラブのブログ等をより一層活用しながら、保護者の皆様にも部活動の様子をお伝えしていきたいと思ひます。

3 教育相談・支援教育の充実

■生徒へのアンケート

質問		学年	そう思う	どちらかとい えぱそう 思う	どちらかとい えぱそう 思わない	そう思わ ない	R05肯定的 回答率
5	学校に悩みを相談できる場があると感じ ていますか。（先生や部屋）	1 年	44.44%	38.56%	9.80%	7.19%	83.0%
		2 年	32.05%	42.95%	19.23%	5.77%	75.0%
	全学年 肯定的回答率平均 79.4%	3 年	40.17%	40.17%	9.40%	10.26%	80.3%

■保護者へのアンケート

質問		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	R05肯定的回答率
4	生徒が保健室や生徒相談室などで気軽に教員に悩みを相談できる。	29.7%	48.6%	15.9%	5.7%	78.4%
5	子どもの心身の健康について相談したいことがある場合、気軽に教員に相談できる。	27.4%	48.1%	18.3%	6.2%	75.5%

【「学校経営計画」における今年度の重点目標の項目箇所】

生徒質問5、保護者質問4、5 → 3 ア

【学校の受け止め方(分析)】

「教育相談・支援教育の充実」について、79.4%の生徒、77.0%（質問4、5の平均）の保護者が肯定的に回答しています。

教育相談・支援教育については担任や保健室を中心として、生徒が気軽に相談できる体制を築いてきました。昨年度に引き続き、感染症拡大防止対策のため「みかんルーム（教育相談室）」の開放はしていませんが、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーが定期的に来校し、個別相談やケース会議を継続して実施しています。各担任や教科担当の先生方も、授業だけでなく様々な場面で日頃から生徒とコミュニケーションを取っています。日頃の関係づくりがこのような結果につながっていると考えられます。また、薬物乱用防止教室、デートDV予防啓発出前授業、思春期講座、他者理解のための講演会、健康教育セミナーなど、心身の健康の充実について意識を高める教育活動も行い、講師の先生にも個別相談の時間を持っていただくこともあります。生徒が心身の健康に関心を持ち、また解決の手段を持つことにつなげていけるようより一層努めてまいります。

【来年度以降の指導の方向性(対応)】

これまで同様、生徒たち一人ひとりの悩みや想いを真摯に受け止め、それぞれのケースに応じたきめ細かな対応を心がけるとともに、様々な課題を持つ生徒の早期発見に努め、生徒自らが自己実現に向けて行動していけるよう支援していきたいと考えています。本校の支援体制、支援に対する教職

員の意識は高く、安心して相談してもらえる状況です。多様な課題のある生徒にしっかりと寄り添えるよう職員研修や個別相談等の機会を持ち、関係機関並びに保護者の皆様との連携を深めながら、教育相談、支援教育の充実に努めます。今後も引き続き、お子様に関わっての悩み、お気づきのことなど、お気軽に学校にご相談いただきますようお願いいたします。

4 互いを認め合える集団づくり

■生徒へのアンケート

質問		学年	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	R05肯定的回答率
6	学校では人権に関して学ぶ機会があると思いますか。（男女平等や性差別、障がい・障がい者に対する正しい理解など） 全学年 肯定的回答率平均 87.1%	1 年	49.34%	32.89%	16.45%	1.32%	82.2%
		2 年	41.40%	45.22%	10.83%	2.55%	86.6%
		3 年	59.32%	33.05%	5.08%	2.54%	92.4%
7	学校は「いじめ」や「暴力」などいろいろな問題を見逃さず対応していると思いますか。 全学年 肯定的回答率平均 82.9%	1 年	45.75%	35.95%	16.99%	1.31%	81.7%
		2 年	35.48%	50.97%	11.61%	1.94%	86.5%
		3 年	45.76%	34.75%	13.56%	5.93%	80.5%

【「学校経営計画」における今年度の重点目標の項目箇所】

質問7 → Ⅰ（2）ウ

■【学校の受け止め方（分析）】

項目6に対する肯定的回答は、1年生 82.2%、2年生 86.6%、3年生 92.4%で、平均すると約87.1%で昨年度の88.8%からは少し下がった結果となりました。しかし、大多数の生徒は人権HRを実施する意図やその内容を、十分に理解してくれていると考えられます。

項目7に対する肯定的回答は、1年生 81.7%、2年生 86.5%、3年生 80.5%であり、平均すると約82.9%でこれは昨年度の80.1%と比較すると上昇した結果となりました。特に2年生での肯定的回答率が昨年度と比較すると10%近く向上している点に大きな変化を感じます。本校独自のアンケートによる実態把握や、その後の担任を中心とした丁寧な聞き取りに対して、一定の信頼は得られていると考えています。しかし、こちらの項目で特に1, 3年生では2割程度の生徒が否定的な回答をしており、生徒が安心して学校生活を送りたいという気持ちをサポートしていく体制づくりをさらに進めていく必要があると考えています。

■【来年度以降の指導の方向性（対応）】

人権HRの更なる充実をはかる必要性を感じています。外部の方の講演などは生徒の印象には残りやすいため高校3年間を通して外部講師の招へいができれば良いのではないかと考えています。人権課題は身近にあるもの、課題は一つではないことを理解し、生徒一人ひとりが互いに認め合いともに育ちながら学校生活が送れるようになることが大切だと考えています。

また、全ての生徒が安心して学校生活を送ることができるよう、アンケート結果をより効果的に活用していくとともに、日頃の生徒の様子を注意深く見守り、トラブルを見逃すことなく生徒一人ひとりが安心して過ごせる環境作りに努めたいと考えています。

■生徒へのアンケート

質問		学年	そう思う	どちらかとい えばそう 思う	どちらかとい えばそう 思わない	そう思わな い	R05肯定的 回答率
9	あなたは授業やL H R、講演会などの機 会を通して、情報モラル等を身につける ことができますか。	1 年	49.67%	41.83%	7.19%	1.31%	91.5%
		2 年	40.76%	52.23%	6.37%	0.64%	93.0%
	全学年 肯定的回答率平均 92.9%	3 年	50.00%	44.07%	4.24%	1.69%	94.1%

【「学校経営計画」における今年度の重点目標の項目箇所】

質問9 → Ⅰ（Ⅰ）カ

■【学校の受け止め方（分析）】

アンケート結果は全体の肯定率 92.9%と昨年度より 0.2%上昇しました。今年度は全学年の集会という形で人推委員長がスマホ使用と人権というテーマで HR を行いました。例年は携帯電話会社に来てもらい、1年生のみが聴くという実施だったが、復習の意味を込め、2,3年生にも改めて学ぶ機会を設けたことで印象に残ったのではないかと考えられます。特に3年生では 94.1%とかなり高い肯定率であり学年を越えての HR での取り上げや情報の授業での学習という継続的、段階的な学習が生徒の情報モラルへの意識を高めているきっかけになっていると思われます。

■【来年度以降の指導の方向性（対応）】

学校として学ぶ機会が増やし、生徒本人たちもモラルを身に着けることができたという回答をしていますが、校内では SNS をはじめとしたスマホトラブルが減っているわけではないといった現状を考えたいと思います。講演などは他人事として聞いていることが多く、その時には意識しているがいざ実生活になるとトラブルの加害者や被害者になってしまうことがありました。来年度は1年生の早い段階で、外部講師によるスマホ・ケータイの安全使用の学習を取り入れ、今年度のような全学年に情報モラルへの意識を持たせる機会を持つことは引き続き必要です。

■保護者へのアンケート

【アンケート項目と集計結果】

質問		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	R05肯定的回答率
7	学校では、すべての生徒の尊厳が守られ、基本的人権が尊重されるように、人権学習、いじめの実態を把握を行っている。	19.5%	57.2%	16.3%	7.0%	76.7%

【「学校経営計画」における今年度の重点目標の項目箇所】 該当なし

■【学校の受け止め方（分析）】

肯定的回答が 76.7%であり、昨年度の 77.0%よりわずかに低下する結果となりました。また、否定的回答も 2割を上回り昨年度よりも数値が高くなっています。生徒の項目 6, 7 の回答の肯定率が 80%を超えていたことと、教員の人権教育への取り組み体制が向上している点と比べると、この数値は低い評価であり、教員の取り組み姿勢が保護者の皆様にもまだまだ伝わっていないこと、生徒の学校内での人間関係の実態把握など今までより更に迅速かつ丁寧に正確に行わなければいけないという、保護者の皆様からの切実なご意見であると受け止めています。

■【来年度以降の指導の方向性（対応）】

全ての生徒が安心して学校生活を送っていけるよう、今後も府教委の年3回実施のいじめ等アンケートでは本校独自のアンケートを実施し、必要な生徒には担任や人推委による聞き取り調査、いじめの防止及び兆候の早期発見と対応等、丁寧かつ迅速な対応に努めてまいります。

また、年間HR計画に位置づけて人権HRを全学年で計画的に実施し、生徒の発達段階に応じて、人権についての正しい知識と理解の育成に努め、さらに、HRの様子を学年団や広報等で広く発信し、本校の人権教育を生徒ならびに保護者の皆様にご理解いただけるよう努めてまいります。

【「学校経営計画」における今年度の重点目標】

5 安全管理の徹底、校内美化の推進と外部機関との連携

■生徒へのアンケート

質問		学年	そう思う	どちらかとい ええばそう 思う	どちらかとい ええばそう 思わない	そう思わな い	R05肯定的 回答率
8	あなたは日頃、学校で清掃するなど、校 内美化に努めていますか。	1 年	43.42%	34.87%	17.76%	3.95%	78.3%
	全学年 肯定的回答率平均 78.4%	2 年	26.45%	51.61%	17.42%	4.52%	78.1%
		3 年	38.14%	40.68%	19.49%	1.69%	78.8%

■保護者へのアンケート

質問		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	R05肯定的回答率
6	校内は、清掃が行き届いている。	15.3%	51.1%	23.7%	9.9%	66.4%

【「学校経営計画」における今年度の重点目標の項目箇所】

生徒質問8、保護者質問6 → 3 イ

■【学校の受け止め方（分析）】

「校内美化の推進」について、生徒の78.4%、保護者の66.4%が肯定的に回答しています。創立73年目を迎え、校舎設備の老朽化や水道設備の不備により、清掃活動も思うようにできない面があります。通常清掃、清掃徹底週間、施設設備の安全点検、生徒保健委員による学校環境美化啓発活動（清掃点検、ポスター掲示など）は引き続き行っています。安全点検で所見があった箇所については、速やかに対応しています。これらの取り組みを通して、学校施設設備環境に一定の改善はありました。今年度も一部トイレが洋式化しています。

■【来年度以降の指導の方向性（対応）】

校舎設備老朽化の改善については、府教育庁に引き続き計画的な整備を要望していきます。

生徒・教職員の一人ひとりが「自分の学校・母校」という気持ちで清掃に取り組むことで、「古いけれど、手入れの行き届いた清潔な学校」につながると考えています。自らの学習環境を清潔に保つことは、将来の社会生活を行う上でも大切です。今後も様々な活動を工夫して美化意識の定着に向けて、継続して指導していきたいと考えています。

清掃の行き届いた環境で学校生活を送る喜びを生徒が感じられるよう、粘り強く取り組んでまいります。保護者の皆様のご理解とご協力に感謝いたします。

6 授業規範の確立と授業マナーの向上

■生徒へのアンケート

質問		学年	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	R05肯定的回答率
10	先生は、生徒の授業中の私語や勝手な行動を見逃さずに注意していると思いますか。 全学年 肯定的回答率平均 84.8%	1 年	48.68%	36.18%	13.16%	1.97%	84.9%
		2 年	39.49%	44.59%	13.38%	2.55%	84.1%
		3 年	52.54%	33.05%	10.17%	4.24%	85.6%
11	あなたは、授業中に私語や勝手な行動をすることなく集中して学習していますか。 全学年 肯定的回答率平均 90.5%	1 年	44.67%	41.33%	12.00%	2.00%	86.0%
		2 年	46.50%	46.50%	6.37%	0.64%	93.0%
		3 年	59.32%	33.05%	5.08%	2.54%	92.4%
12	学校のカリキュラム（授業科目の配置等）は、進路希望に応じて、コースや選択科目が選べるように配慮されていると思いますか。 全学年 肯定的回答率平均 94.7%	1 年	55.26%	39.47%	5.26%	0.00%	94.7%
		2 年	44.23%	49.36%	5.77%	0.64%	93.6%
		3 年	58.47%	37.29%	3.39%	0.85%	95.8%

■保護者へのアンケート

【アンケート項目と集計結果】

質問		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	R05肯定的回答率
10	子どもは学校の授業内容に満足している。（わかる、興味が持てる）	18.7%	58.1%	18.1%	5.1%	76.8%
11	学校のカリキュラム（授業科目の配置等）は、子どもの進路希望に応じたコースや選択科目が選べるようになっている。	36.1%	53.2%	9.4%	1.3%	89.3%

【「学校経営計画」における今年度の重点目標の項目箇所】

生徒質問10、11、12 → 2（2）ア

生徒質問11 → 1（1）オ

■【学校の受け止め方（分析）】

8割ほどの生徒が「先生は生徒の授業中の私語や勝手な行動を見逃さずにきっちりと注意していると思います」と捉えてくれていますが、一方で、全学年を通じて2割ほどの生徒が「授業中に生徒への注意をしていない」と否定的な回答をしています。高校生活の基本は授業であり、どの学年・どの授業であっても授業規律が保たれている状態が望ましく、生徒の皆さんの意見は重く受け止めています。

また、約1/4の保護者の皆様がお子さんは吹田高校の授業に満足していないと感じられていることが分かります。

一般的に、高校での授業はただ単純に楽しいだけのものではなく、充実感や達成感を得るためには生徒自身の努力が必要ですが、生徒に一定の学力をつけることは学校として当然の責務であり、中でも授業は学校の根幹をなすものです。

しかしながら、少なくない皆さんから否定的な回答をいただいたことは、あらためて学校として真摯に受け止め、授業に興味をもたせる一層の工夫や、学習に対して不安がある生徒に対するさらなるケアが必要だと認識しており、早急に改善を図りたいと思います。

教育課程に関しては、どの学年においても9割以上の生徒がカリキュラムに満足していると捉えることができます。また、保護者の皆様におかれましても約9割の方がカリキュラムに満足していると回答していただいております。一方で、カリキュラムと進路希望が結びついていないというご意見も少なからずございます。これらのご意見を真摯に受け止め、より良い教育課程を作り上げていくように尽力いたします。

■【来年度以降の指導の方向性（対応）】

生徒の皆さんに一定の学力をつけることは学校として当然の責務であり、中でも授業は学校の根幹をなすものです。

今回の結果を踏まえ、すべての教員が自らの授業技術を磨く必要性をさらに強く自覚し、1つ1つ丁寧に取り組むことで総合的な授業力の向上に努めてまいります。また、科目や教科単位で年間の到達目標や評価規準を明確にし、生徒がめざす資質・能力を示すことで、計画的に授業を実施していく所存です。

一方で、授業はまさに教員と生徒の共同作業であり、お互いが求められる役割と責任を果たすことで初めて「よい授業、興味が持て、分かる授業」が成立します。

授業規律の確立について、生徒の皆さんに自身の行動を見直すこと、必要な予習や復習をすることなどを、学校としても強く求めていると考えています。

保護者の皆様のご理解とご協力をいただきながら、生徒が、学ぶこと、新たな知識を得ることの楽しさと大切さに気づくことができる授業やカリキュラム作成に、引き続き学校をあげて取り組んでいきたいと思っています。

7 三年間を見据えた系統的な進路指導

■生徒へのアンケート

質問		学年	そう思う	どちらかとい えればそう 思う	どちらかとい えればそう 思わない	そう思わな い	R05肯定的 回答率
13	学校が提供している進路に関する情報や 進路H Rは、あなたが将来の進路を考え るうえで役立っていると思いますか。	1 年	45.75%	44.44%	7.84%	1.96%	90.2%
		2 年	41.40%	49.68%	8.28%	0.64%	91.1%
	全学年 肯定的回答率平均 90.9%	3 年	51.69%	39.83%	5.08%	3.39%	91.5%

■保護者へのアンケート

質問		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	R05肯定的回答率
12	学校では、子どもの進路実現に役立つ情報提供が適切に行われている。	32.5%	52.3%	14.1%	1.1%	84.8%
13	学校では、子どもの学力向上のための講習・補習などが適切に行われている。	26.2%	52.1%	16.8%	4.8%	78.3%

【「学校経営計画」における今年度の重点目標の項目箇所】

生徒質問13 → 1(3)ア、2(1)ウ

保護者質問13 → 2(1)ア

■【学校の受け止め方（分析）】

生徒の肯定的回答は昨年より微増の結果となっており、充実した進路指導を実施することができたと考えております。一方で1割弱の生徒には否定的な回答となっていることから、今までとは異なる取り組みの可能性も探る必要があると考えています。

保護者の肯定的回答は12全く同じ、13微増という結果になりました。保護者対象の進路説明会、懇談会時における進路資料提供・配布、メルマガでの進路関係行事予定の配信、ホームページでの進路関係行事の紹介を今後も続けていきたいと思ひます。

■【来年度以降の指導の方向性（対応）】

今後も生徒・保護者への情報提供や進路に関するサポートを維持していきたいと考えております。GoogleClassroom やデジタル資料の活用とあわせて、進路指導室における対面相談や進路指導部主催の各種行事・取り組みなどで、あらゆるニーズこたえる進路指導を実施してまいります。

8 その他

■生徒へのアンケート

質問		学年	そう思う	どちらかとい えばそう 思う	どちらかとい えばそう 思わない	そう思わ ない	R05肯定的 回答率
14	先生は自分たちのために一生懸命に指導 してくれていると思いますか。	1 年	59.48%	35.29%	3.92%	1.31%	94.8%
	全学年 肯定的回答率平均 93.6%	2 年	50.00%	46.15%	3.21%	0.64%	96.2%
		3 年	61.02%	28.81%	7.63%	2.54%	89.8%

■保護者へのアンケート

質問		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	R05肯定的回答率
14	学校の教職員は子どものために、一生懸命に指導をしている。	38.1%	48.0%	11.3%	2.7%	86.1%

【「学校経営計画」における今年度の重点目標の項目箇所】 該当なし

■【学校の受け止め方（分析）】

教職員の指導に対して、生徒、保護者とも8割以上の肯定的な回答をいただいておりますが、保護者の13%の方は教職員の指導に対して理解が得られていない状況です。生徒だけではなく、保護者にも十分に理解をしていただけるよう、場面に応じて今後もしっかりと説明をさせていただきます。

日常的な指導においては、全教職員の共通理解のもと、生徒と教職員の相互信頼という基盤を築きながら、校内のルールやマナー、基本的生活態度（時間・服装・挨拶・言葉遣い）を全教員で粘り強く指導していきます。また、生徒個々の特性を生かしながら、協働の集団や社会の構成員として適した資質や態度・能力の発達を図り、学校だけでなく様々な生活の中で強く正しく生きる態度や能力の発達を助成するため、具体的場面に即した指導をしていきます。

■【来年度以降の指導の方向性（対応）】

こういった指導の成果が生徒を通じて保護者の方にも理解していただけるよう、今後も保護者・地域の皆様からのご意見やご要望を真摯に受け止め、教職員が一丸となって教育活動に専心してまいります。お子様への指導に疑問やご質問がございましたら、小さなことでも結構ですので、お気軽にご連絡いただければ幸いです。

■保護者へのアンケート

質問		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	R05肯定的回答率
15	個人懇談、進路説明会などに積極的に参加している。	25.9%	45.8%	23.5%	4.9%	71.7%

【「学校経営計画」における今年度の重点目標の項目箇所】 該当なし

■【学校の受け止め方（分析）】 【来年度以降の指導の方向性（対応）】

できるだけ多くの保護者の方に学校に来ていただくことで、開かれた学校と感じていただけたと思います。今後も多くの保護者の方に学校へ来ていただけるよう、個人懇談、進路説明会などを実施していきます。

■保護者へのアンケート

質問		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	R05肯定的回答率
16	学校からの情報や連絡は、配布物やホームページ、メールマガジン等を通して把握している。	39.1%	44.5%	13.4%	2.9%	83.6%

【「学校経営計画」における今年度の重点目標の項目箇所】

質問18 → 4（3）イ

■【学校の受け止め方（分析）】 【来年度以降の指導の方向性（対応）】

保護者生徒を含む中学生や一般の方へはHPとX(旧Twitter)、保護者へはメールマガジン、生徒へはClassroomと状況に応じて連絡手段を使い分け、緊急情報は土日であっても発信しています。また、昨年度から、欠席等の連絡にGoogleフォームを導入し、保護者からの連絡をスムーズに受け取ることができています。そして、今年度途中からはGoogleカレンダーに行事予定、連絡等を掲載するようにしています。こちらは生徒に付与しているアカウントから閲覧することができますので、ぜひご家庭でも活用していただければ幸いです。引き続きご活用いただきますようお願いいたします。

■保護者へのアンケート

質問		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	R05肯定的回答率
17	学校は、家庭への連絡や保護者との意思疎通をきめ細かく行っている。（意見や要望を聞く機会がある）	23.1%	49.5%	20.2%	7.2%	72.6%

【「学校経営計画」における今年度の重点目標の項目箇所】 該当なし

■【学校の受け止め方（分析）】【来年度以降の指導の方向性（対応）】

各種指導、学校内での怪我や成績など、生徒に何かあった際には保護者の方へ連絡をさせていた
だいています。昨年度より肯定的な回答が増えていますが、今後ともご家庭と学校との連携を大切に
していき、引き続き全教員へ周知してまいります。また、ご相談がある場合は、担任、学年主任など
を中心にお話を聞かせていただきますので、お気軽にご連絡してくださいませよう願いたします。

■保護者へのアンケート

質問		そう思う	どちらか といえば そう 思う	どちらか といえば そう 思わない	そう思わ ない	R05肯定的 回答率
18	学校は近隣の地域施設や大学などとの連携を積極的に図っている。	19.8%	53.5%	22.3%	4.3%	73.4%

【「学校経営計画」における今年度の重点目標の項目箇所】

質問20 → 2(2)イ

■【学校の受け止め方（分析）】【来年度以降の指導の方向性（対応）】

開かれた学校づくりをめざしている吹田高校の取り組みに対して、今年度も70%を超える保護者の
方から肯定的な回答をいただきました。専門学校との連携、大学との連携、中学校との連携、吹田市
クリエイティブセンターとの連携など、今後もさらに地域、各種施設との連携を広げていくとともに、
保護者の方にも活動を知っていただけるようにしていきます。

■生徒へのアンケート ※今年度からの新項目です。

質問		学年	そう思う	どちらか といえば そう 思う	どちらか といえば そう 思わない	そう思わ ない	R05肯定的 回答率
15	1人1台端末(Chromebook)を授業や家庭学習で活用していますか。	1年	50.98%	31.37%	11.76%	5.88%	82.4%
		2年	46.50%	39.49%	10.19%	3.82%	86.0%
		3年	45.76%	24.58%	20.34%	9.32%	70.3%
		全学年 肯定的回答率平均 79.6%					

【「学校経営計画」における今年度の重点目標の項目箇所】 該当なし

■【学校の受け止め方（分析）】【来年度以降の指導の方向性（対応）】

今年度より、新たに項目を設けさせていただきました。多くの生徒がChromebookを活用している
状況が確認できました。新たなツールですので、しっかりと活用することができるよう、教員の研修
を行っています。生徒がChromebookを授業で活用することで、より理解を深め、また家庭での学習
に役立てていくことができるよう、情報科の授業を中心に活用の幅を広げていきます。

■生徒へのアンケート

質問		学年	そう思う	どちらか といえば そう 思う	どちらか といえば そう 思わない	そう思わ ない	R05肯定的 回答率
16	あなたは学校に行くことが楽しいですか。	1年	48.37%	27.45%	16.34%	7.84%	75.8%
		2年	42.31%	33.97%	15.38%	8.33%	76.3%
		3年	53.39%	32.20%	7.63%	6.78%	85.6%
		全学年 肯定的回答率平均 91.7%					

■保護者へのアンケート

質問		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	R05肯定的回答率
19	子どもは、学校が楽しいと言っている。	41.0%	34.6%	16.2%	8.2%	75.5%

【「学校経営計画」における今年度の重点目標の項目箇所】 該当なし

【学校の受け止め方（分析）】 【来年度以降の指導の方向性（対応）】

学校が楽しいと思っていただけることは大切なことととらえています。昨年度から引き続き、今年度も肯定的な回答が増えてはいるのですが、学校の使命としては 100%を目標に教育活動を進めていかなければいけません。

全生徒、全保護者の方の思いを取り入れた学校運営ということはなかなか難しいのが実際ではありますが、だからと言って諦めることはいたしません。この学校教育自己診断の際などを機に学校へご意見をいただければと思います。また、学校には相談室（みかんルーム）を設置しておりますので、友達には話せないこと、悩みごとがあれば遠慮なく利用してください。

生徒は、学習、人間関係、日常生活など、さまざまなことについて思い悩むことがあろうかと思いますが、学校が生徒にとっての居場所となるように、そしてどの生徒でも楽しいと思える場面を作っていけるように、全教職員で安心できる学校づくりをしていきます。

■保護者へのアンケート

質問		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	R05肯定的回答率
20	「学校教育自己診断」の結果をホームページに掲載させていただいていますが、このような取組みを今後もさらに充実させたほうがよい。	43.3%	45.2%	8.9%	2.7%	88.4%

【「学校経営計画」における今年度の重点目標の項目箇所】 該当なし

【学校の受け止め方（分析）】 【来年度以降の指導の方向性（対応）】

今後もホームページへの掲載を引き続き行うことで、情報発信に努めてまいります。